

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

変額保険

グローバルミックス

月次運用レポート

2016年5月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

基本資産 配分比率	運用方針	利 用 す る 投 資 信 託	
		投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 ALM & 特別勘定運用部が行います。)	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) (適格機関投資家私募)	

※ 特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

変額保険

特別勘定の月次運用レポート（2016年5月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2016年5月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前月末比+2.93%上昇の1,379.80ポイントで終了しました。

月前半は、急激な円高進行などを受けて下落した後、円高の動きが一服すると反発に転じましたが、利益確定目的の売りなどから再び下落しました。月後半は、米国株式市場や原油価格の反発などを受けて上昇した後、利益確定目的の売りなどを背景に下落する局面もありましたが、月末にかけては、国内での政策期待の高まりなどから上昇しました。

業種別(東証33業種)では、円高一服が好感されて「その他製品」(前月末比+8.32%)が最も上昇した一方、原料高などによる業績悪化が嫌気された「ゴム製品」(同△6.53%)が最も下落しました。

日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指標化しています。



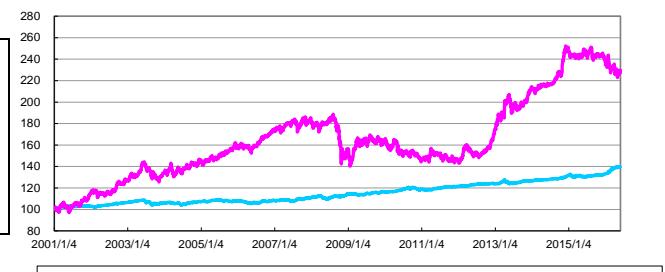
【外国株式市場】

米国株式市場は、月前半、主要な経済指標がまちまちな結果となるなか、米国の利上げペースを巡る不透明感などから揉み合いとなりました。月後半は、4月のFOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨を受けて早期利上げへの警戒感が高まったことなどから下落しましたが、その後、米新築住宅販売件数の大幅増加や原油高が好感されたことなどから上昇しました。NYダウは、前月末比+0.08%上昇の17,787.20ドルで終了しました。

欧洲株式市場は、月前半、EU(欧洲連合)がユーロ圏の景気・物価見通しを下方修正したことなどを受けて下落した後、ギリシャ支援協議の進展などを背景に上昇する一方で、低調な企業決算が重石となったことなどから下落し、揉み合いとなりました。月後半は、原油価格や為替の動向などから下落する局面もありましたが、ギリシャ支援協議のさらなる進展や景気回復期待の高まりなどから上昇しました。月を通して見ると、市場別騰落率は、英FTSE100が前月末比△0.18%下落、仏CAC40が同+1.73%上昇、独DAXが同+2.23%上昇となりました。

日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指標化しています。

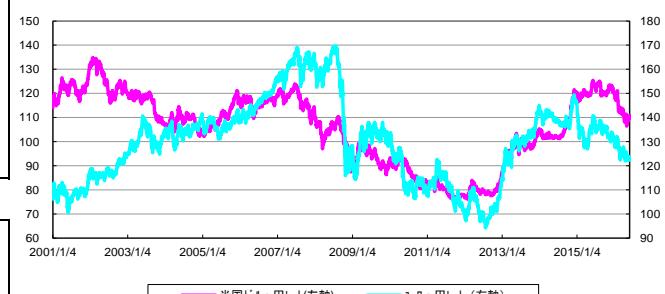


【日本債券市場】

日本債券市場は、月前半、日銀オペで国債需要の強さが意識されたことなどから、金利は低下(価格は上昇)しました。月後半は、米国の早期利上げへの警戒感が高まったことなどから上昇(価格は下落)する局面もありましたが、40年利付国債入札が順調だったことなどから低下しました。新発10年国債利回りは、月末は△0.120%となりました(前月末は△0.085%)。

日銀が一部当座預金にマイナス利金を適用していることから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.07~△0.05%近辺で推移しました。

外国為替市場の推移



【外国債券市場】

米国債券市場は、月前半、中国や英国の製造業景況感の悪化などを背景に、金利は低下(価格は上昇)しました。月後半は、早期利上げへの警戒感が高まったことなどから上昇(価格は下落)しましたが、その後、国債入札が良好な結果となつたことなどが下支えとなる一方、米国株式市場の上昇が重石となるなど、小幅な揉み合いで推移しました。米10年国債利回りは、月末は1.846%となりました(前月末は1.833%)。

欧洲債券市場は、月前半、EUがユーロ圏の景気・物価見通しを下方修正したことなどを受けて、金利は大幅に低下(価格は上昇)しました。月後半は、米国の早期利上げへの警戒感が高まったことなどから上昇(価格は下落)しましたが、その後、ギリシャ支援協議が進展したものの、英国のEU離脱の是非を問う国民投票などへの懸念がくすぶついていることなどから、小幅な揉み合いで推移しました。独10年国債利回りは、月末は0.139%となりました(前月末は0.271%)。

FBI(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.25~0.50%を維持しました。ECB(欧洲中央銀行)は政策金利を据え置き、年0.00%を維持しました。

出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【外国為替市場】

ユーロ／円相場は、前月末比1円19銭円安ドル高の1ドル=110円94銭となりました。月前半、日銀が4月末に追加緩和を見送ったことなどから大幅に円高となった後、日本政府要人の円高牽制発言や原油価格の上昇などを背景に円安の動きとなりました。月後半は、国内輸出企業の円買い・米ドル売りが活発化したことなどから円高の動きとなる局面もありましたが、米国の早期利上げへの警戒感が高まったことなどから円安基調で推移しました。

ユーロ／円相場は、前月末比47銭円高ユーロ安の1ユーロ=123円65銭となりました。月前半、大幅に円高となった後、日本政府要人の円高牽制発言などを背景に円安に転じましたが、再び円高の動きとなりました。月後半は、揉み合いながら円高が進行した後、米国の早期利上げへの警戒感から円安米ドル高が進行したことなどにつれて、ユーロも円に対して堅調に推移しました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の月次運用レポート（2016年5月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2016年5月 末日現在]

■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2016年5月末	2016年4月末	2016年3月末	2016年2月末	2016年1月末	2015年12月末
INDEX	1.164	1.155	1.151	1.125	1.145	1.191
	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
騰落率(%)	0.83	3.48	▲3.17	▲4.77	14.38	16.43

※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

※ 謄落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	1,943,857	4.5
その他有価証券	41,698,508	95.5
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	4,389,775	10.1
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)	6,490,096	14.9
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	6,710,803	15.4
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	4,580,073	10.5
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	19,527,760	44.7
合計	43,642,366	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当月のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。

資産配分に関しては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。)
今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の月次運用レポート（2016年5月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[2016年5月 末日現在]

■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を10,000として指数化しています。

■ 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高い、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式

マザーファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■ 当投資信託の騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.49%	7.13%	▲12.92%	▲16.85%	26.82%	21.96%
BM	2.93%	6.31%	▲12.68%	▲17.56%	21.48%	▲6.93%
差	▲0.44%	0.82%	▲0.24%	0.71%	5.33%	28.89%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹¹です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 市場別構成比率

	市場	マザーファンド
1	東京証券取引所第一部	98.18%
2	現金等	1.82%
	合計	100.00%

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 業種別構成比率

	業種	マザーファンド
1	電気機器	10.98%
2	情報・通信業	10.38%
3	輸送用機器	10.22%
4	小売業	9.36%
5	医薬品	6.16%
6	銀行業	6.01%
7	化学	5.70%
8	卸売業	5.20%
9	その他業種	34.18%
10	現金等	1.82%
	合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	マザーファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.47%
2	KDDI	情報・通信業	2.55%
3	日本電信電話	情報・通信業	2.40%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	1.93%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.66%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.55%
7	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.51%
8	NTTドコモ	情報・通信業	1.36%
9	日本たばこ産業	食料品	1.29%
10	本田技研工業	輸送用機器	1.19%
	合計		18.92%
	組入銘柄数		287銘柄

※ 上記銘柄は、推薦または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+2.49%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比+2.93%となりました。当月の日本株式市場では、企業規模の大きい銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、少なめに保有していた食品が上昇したことや多めに保有していた不動産が下落したことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた日本調剤(3341)やフジヤースホールディングス(3284)が上昇したことはプラスに寄与ましたが、多めに保有していた東亜建設工業(1885)やショーワ(7274)が下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将來の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の月次運用レポート（2016年5月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）（適格機関投資家私募）の運用状況

[2016年5月 末日現在]

■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を10,000として指数化しています。

■ 当投資信託の騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.80%	7.82%	▲12.70%	▲15.08%	30.79%	46.48%
BM	2.93%	6.31%	▲12.68%	▲17.56%	21.48%	7.02%
差	▲0.13%	1.51%	▲0.01%	2.48%	9.30%	39.46%

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 業種別構成比率

	業種	マザーファンド
1	電気機器	13.27%
2	情報・通信業	10.80%
3	小売業	9.87%
4	輸送用機器	8.53%
5	医薬品	7.29%
6	銀行業	5.94%
7	化学	5.24%
8	卸売業	5.00%
9	その他業種	32.67%
10	現金等	1.38%
合計		100.00%

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	マザーファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.25%
2	日本電信電話	情報・通信業	2.63%
3	KDDI	情報・通信業	2.51%
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.44%
5	日本たばこ産業	食料品	2.28%
6	NTTドコモ	情報・通信業	1.98%
7	武田薬品工業	医薬品	1.94%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.86%
9	アステラス製薬	医薬品	1.78%
10	日産自動車	輸送用機器	1.75%
合計		22.40%	
組入銘柄数		173銘柄	

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行なうものではありません。

■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+2.80%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比+2.93%となりました。当月の日本株式市場では、企業規模の大きい銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、少なめに保有していた自動車が上昇したことや多めに保有していたREITが下落したことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた丸紅(8002)やガオホールディングス(2681)が下落したことはマイナスに寄与しましたが、多めに保有していた資生堂(4911)やバンダイナムコホールディングス(7832)が上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうこととします。

※ 将來の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の月次運用レポート（2016年5月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[2016年5月 末日現在]

■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指標化しています。

■ 当投資信託の騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.07%	6.79%	0.19%	▲1.43%	29.27%	92.80%
BM	0.11%	7.46%	▲0.08%	▲1.75%	25.25%	51.98%
差	▲0.04%	▲0.67%	0.28%	0.33%	4.02%	40.82%

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

○ セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	ソフトウェア・サービス	12.88%
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	10.62%
3	食品・飲料・タバコ	8.16%
4	小売	6.60%
5	資本財	6.23%
6	エネルギー	5.92%
7	テクノロジー・ハードウェア	4.48%
8	ヘルスケア機器・サービス	4.43%
9	その他業種	40.17%
10	現金等	0.51%
合計		100.00%

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.17%
2	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.57%
3	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.52%
4	PFIZER INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.93%
5	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.80%
6	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.76%
7	FACEBOOK INC.	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.67%
8	AT&T INC.	アメリカ	電気通信サービス	1.52%
9	COMCAST CORPORATION	アメリカ	メディア	1.36%
10	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.32%
合計				19.62%
組入銘柄数				237銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.07%となりました。一方、ベンチマークであるS&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は、前月末比+0.11%となりました。当月の米国株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた繊維や食品が下落したことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスのPFIZER INC.やソフトウェア・サービスのACTIVISION BLIZZARD INC.が上昇したことはプラスに寄与しましたが、多めに保有していた小売のTHE GAP INC.やTHE PRICELESS GROUP INC.が下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将來の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の月次運用レポート（2016年5月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[2016年5月 末日現在]

■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指標化しています。

■ 当投資信託の騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.95%	6.18%	▲5.24%	▲10.00%	14.88%	31.29%
BM	▲0.29%	4.45%	▲6.72%	▲12.17%	7.14%	▲4.45%
差	1.24%	1.73%	1.48%	2.17%	7.74%	35.74%

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国別構成比率

	国名	マザーファンド
1	イギリス	29.07%
2	ドイツ	14.92%
3	フランス	13.42%
4	スイス	13.04%
5	スペイン	5.42%
6	オランダ	5.39%
7	スウェーデン	4.58%
8	イタリア	3.33%
9	その他の国	10.22%
10	現金等	0.60%
合計		100.00%

※ 設定來の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数³(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	資本財	10.44%
2	食品・飲料・タバコ	10.28%
3	医薬品・バイオテクノ・ライフ	10.08%
4	銀行	8.86%
5	素材	7.81%
6	保険	6.61%
7	エネルギー	5.72%
8	電気通信サービス	5.55%
9	その他業種	34.05%
10	現金等	0.60%
合計		100.00%

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	2.83%
2	NOVARTIS AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.65%
3	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	2.20%
4	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	2.12%
5	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.80%
6	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	1.77%
7	BASF SE	ドイツ	素材	1.64%
8	ALLIANZ SE	ドイツ	保険	1.64%
9	UNILEVER NV	オランダ	家庭用品・パーソナル用品	1.61%
10	DIAGEO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	1.58%
合計				19.83%
組入銘柄数				217銘柄

※ 上記銘柄は、推薦または取得の申込みの勧誘を行ふものではありません。

■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.95%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前月末比▲0.29%となりました。当月の欧州株式市場は、EPS(一株あたり利益)の変化率が高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、少なめに保有していた金属や石油メジャーが下落したことはプラスに寄与しました。国別では上昇したアイルランドの銘柄を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していたメディアのEUTELSAT COMMUNICATIONS(フランス)が下落したことはマイナスに寄与しましたが、多めに保有していた医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスのGENMAB A/S(デンマーク)が上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の月次運用レポート（2016年5月）

- 当資料中の運用実績に関するいがなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[2016年5月 末日現在]

■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■ 利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 〈適格機関投資家私募〉

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■ 当投資信託の騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.18%	0.14%	0.93%	1.11%	3.47%	18.55%
BM	0.15%	0.01%	1.16%	1.47%	3.86%	24.07%
差	0.03%	0.13%	▲0.24%	▲0.36%	▲0.39%	▲5.52%

※ 設定來の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、パークリーズ日本総合(3~7年)インデックス⁴です。(※)
(※)当ベンチマークは、2016年5月から日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)より変更となりました。

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.16 年	99.61%
国債	5.23 年	59.43%
地方債	0.00 年	0.00%
特殊債・財投債	0.00 年	0.00%
金融債	0.00 年	0.00%
社債等	2.58 年	40.18%
その他	0.00 年	0.00%
短期資産等*	0.00 年	0.39%
合計	4.15 年	100.00%

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

* 債券先物を含みます。

○ 組入上位10銘柄

銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
				ムーディーズ	S&P	
1 第324回利付国債(10年)	日本	0.800%	2022年6月20日	A1	A+	12.92%
2 第312回利付国債(10年)	日本	1.200%	2020年12月20日	A1	A+	10.07%
3 第311回利付国債(10年)	日本	0.800%	2020年9月20日	A1	A+	7.43%
4 第127回利付国債(5年)	日本	0.100%	2021年3月20日	A1	A+	6.40%
5 第313回利付国債(10年)	日本	1.300%	2021年3月20日	A1	A+	5.80%
6 第322回利付国債(10年)	日本	0.900%	2022年3月20日	A1	A+	4.80%
7 第5回新韓銀行円貨社債(2014)	韓国	0.390%	2017年11月13日	Aa3	A	4.04%
8 第328回利付国債(10年)	日本	0.600%	2023年3月20日	A1	A+	3.81%
9 第2回スタンダード・チャータード・ビーエルシー	イギリス	0.453%	2020年6月5日	A1	BBB+	3.58%
10 第315回利付国債(10年)	日本	1.200%	2021年6月20日	A1	A+	2.90%
合計				61.73%		
組入銘柄数				44銘柄		

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧説を行うものではありません。

■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.18%、一方、ベンチマークであるパークリーズ日本総合(3~7年)インデックスは前月末比+0.15%となりました。当月の当投資信託は前月からの戦略を維持し、ベンチマークを上回る結果となりました。当月は米国の利上げ観測が高まったことから、日本国債利回りは一時的に上昇しましたが、日銀の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」による需給の引き締まりを受け、日本国債利回りはマイナス圏での推移が継続しました。当月末の日本10年国債の利回りは前月末比0.035%低下のマイナス0.120%となりました。

委託会社は、日銀の量的金融緩和策を背景にして、日本国債利回りはマイナス圏で推移すると予想しています。今後の当投資信託の方針として、デュレーション戦略ではベンチマーク対比小幅短めから徐々に中立近辺とし、種別戦略ではベンチマーク対比での国債の少なめの配分と非国債の多めの配分を維持する方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド
平均複利利回り	0.00%
平均クーポン	0.92%
平均残存期間	4.24
合計	100.00%

※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

変額保険

用語説明

- * 1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指標で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「株東京証券取引所」)の知的財産であり、この指標の算出、数値の公表、利用など株価指標に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。
株東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- * 2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード＆プアーズ社が公表している株価指標で、米国の大企業500社によって構成されています。当該指標に関する一切の知的財産権その他一切の権利は
スタンダード＆プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。
- * 3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指標です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
また、MSCI Inc. は、指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(現地通貨ベース)に対し、
委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。
- * 4 「バーカレイズ日本総合(3-7年)インデックス」とは、バーカレイズ・バンク・ビーエルシーおよび関連会社(バーカレイズ)が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、
当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はバーカレイズに帰属します。

注意事項

○変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかる資産とは区分し、
独立して管理・運用を行います。

○変額保険のリスクについて

①市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有定期の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>